

教育委員会 平成23年度8月臨時会会議録

○日 時 平成23年8月1日(月) 15時00分開会、19時30分閉会

○場 所 鎌倉市役所 全員協議会室

○出席委員 林委員長、山田委員、朝比奈委員、下平委員、熊代教育長

○傍聴者 163人

○本日審議を行った案件

- 1 協議事項 鎌倉市立中学校平成24年度使用教科用図書の選定について
- 2 議案第7号鎌倉市立小学校平成24年度使用教科用図書の採択について
- 3 議案第8号鎌倉市立中学校平成24年度使用教科用図書の採択について

林委員長

定足数に達したので委員会は成立した。これより8月臨時会を開会する。本日の議事日程はお手元に配付したとおりである。本日は、平成24年度使用教科用図書の採択関連のご審議をいただくわけだが、中学校使用教科用図書の採択については、これまでと同様に、まず協議事項としてご協議いただき、その結果を踏まえ、議案第13号でご審議いただくこととしたいと思う。

本日の会議録署名委員を朝比奈委員に願います。では、日程に従い議事を進める。

- 1 協議事項 鎌倉市立中学校平成24年度使用教科用図書の選定について

林委員長

「鎌倉市立中学校平成24年度使用教科用図書の選定について」を議題とする。協議内容の説明をお願いします。

教育指導課長

議案集の2ページ、鎌倉市立小中学校使用教科用図書採択検討委員会委員長からの「鎌倉市立中学校平成24年度使用教科用図書の調査研究について」、及び別添「鎌倉市立中学校平成24年度使用教科用図書調査研究報告書」を参照いただきたい。これは、7月22日に鎌倉市立小中学校使用教科用図書採択検討委員会委員長から教育委員会に対して、提出されたものである。

この報告をもとに平成24年度使用中学校教科用図書の選定について協議をしていただ

くことになるが、それに先立ち、この報告書作成までの経過について説明する。

本年4月の教育委員会で、「平成24年度使用教科用図書の採択方針」を議決していただいた。

鎌倉市立中学校の平成24年度使用教科用図書については、その採択方針に基づき、鎌倉市立小中学校使用教科用図書採択検討委員会を5月に設置した。検討委員会は小学校長1名、中学校長2名、鎌倉市学校教育研究会の代表3名（小学校長・中学校長・中学教頭）、中学校教員代表2名、保護者の代表2名、計10名である。また、この検討委員会に、調査委員を置き、調査委員は、各種目2～5名で市立中学校教員により15種目44名で構成した。国語4名、書写2名、地理・地図3名、歴史4名、公民4名、数学5名、理科5名、音楽一般・器楽3名、美術3名、保健体育3名、技術2名、家庭2名、英語4名、計44名である。

第1回検討委員会を5月10日に開催し、報告書の作成を教育長から検討委員会に依頼した。依頼内容は、「検討委員会の調査研究及び比較検討は平成24年度使用教科用図書の採択方針に準拠し行うこととし、報告書の内容については、教科用図書の種目ごとに一覧表で表し、順位性を明示し、教育委員会が採択をするにあたって参考となる資料を作成する。報告の期限は平成23年7月22日とする」である。

検討委員会では、依頼内容に基づき、調査委員に教科書の調査研究を、「県の採択方針にある調査研究の観点に基づき、種目ごとに特徴的なことを記述する」「『言語活動の充実』・『習得・活用等、新学習指導要領のキーワードとなる言葉』等を種目ごとに共通観点として定め、比較検討しやすいようにまとめる」「生徒の発達の段階に則しているか」等の指示をすることを決めた。

第1回検討委員会を受けて、5月23日に第1回調査委員の調査会を開催し、

- 1 個人の立場ではなく、種目別に調査委員として調査資料を作成する。
- 2 種目ごとに調査委員全員がすべての教科書の調査・研究にあたり、全員の総意として資料を作成する。

ことを基に調査活動に入った。調査会の第2回を6月15日、第3回を6月29日に開催し、調査資料を作成した。

この調査資料を基に第2回検討委員会を7月6日に開催し、検討に入るとともに併せて報告における順位性について協議をした。

順位性については3段階とし、☆3、☆2、☆1と表記することとし、それぞれの種目ごとの星の数は、協議・検討し決めていくこととした。☆2は鎌倉の生徒にふさわしいと検討委員会で判断した教科書、☆3は鎌倉の生徒によりふさわしいと検討委員会で判断した教科書とし、☆1は☆2、3にあたらぬものとした。

また、種目ごとに☆3、☆2、☆1をそれぞれいくつの発行者につけるかについては、協議の中で判断することとした。

検討委員会で使用した資料は、議案集2ページ「鎌倉市立中学校平成24年度使用教科

用図書の調査研究について（報告）」の中にあるとおりである。

1 調査委員が作成した資料として

鎌倉市立小学校平成24年度使用教科用図書調査資料

2 使用した資料として

(1) 文部科学省

ア 中学校用教科書目録（平成24年度使用）

イ 平成24年度使用中学校教科書見本本

ウ 平成24年度使用中学校教科書編集趣意書

(2) 神奈川県教育委員会

ア 平成24年度義務教育諸学校使用教科用図書採択方針

イ 中学校、中等教育学校の前期課程用教科用図書調査研究の結果（平成24・25・26・27年度用）

(3) その他

ア 平成24年度使用教科用図書の採択方針（鎌倉市教育委員会）

イ 平成24年度使用中学校教科書見本本提出発行者別一覧表

ウ 平成24年度使用教科用図書鎌倉市立中学校調査票（15種目）

エ 鎌倉市立中学校教科用図書展示会に寄せられた意見

(3) ウの平成24年度使用教科用図書鎌倉市立中学校調査票については、5月24日から市内中学校9校に各校12日間程度見本本を巡回展示し、各校調査研究した資料である。エの展示会に寄せられた意見については、市中央図書館を会場に6月15日から6月21日までの7日間一般市民を対象に教科書展示会を開催した際にいただいた意見である。

検討委員会では、調査委員からの調査資料と検討委員各自の調査研究を基に協議をし、最終的に7月14日の第3回の検討委員会で、順位性・評価の内容を協議、決定し、7月22日に教育委員会に報告された。

以上が経過である。続いて、報告書の説明をする。

「鎌倉市立中学校平成24年度使用教科用図書調査研究報告書」をご覧いただきたい。P1～3、種目「国語」を例にとって説明する。まず、表の左上に種目が示されている。項目の左から「発行者番号」、「発行者略称」は、文部科学省から送付された中学校用教科書目録に示されたものである。「総合評価」については、先ほど経過の中でお伝えしたが、☆3は鎌倉の生徒によりふさわしいと検討委員会で判断した教科書、☆2は鎌倉の生徒にふさわしいと検討委員会で判断した教科書、☆1は☆2、3にあたらぬものとなっている。

「総合評価の内容」については、検討委員会の総意として、種目ごとに3つの共通の観点を定めて教科用図書の特徴をできるだけ具体的に記述した。共通の観点以外に特筆すべき特徴がある場合には「その他」として記載した。この形式で15種目の種目ごとに報告がされている。

以上で報告書の作成経過と報告書についての説明を終わる。鎌倉市立中学校平成24年度使用教科用図書の選定については、1種目ずつご協議をいただくようお願いしたい。なお、種目の内容等についてのご質疑があれば、担当の指導主事に回答させたいと考えているので、よろしく願います。

質問・意見

下平委員

3月11日の東日本大震災以降、教科書の内容が多少変更されることが考えられるが、各社とも適正に対応しているか。

教育指導課長

教科書は今年3月末に文科省の検定を通ったものである。写真や資料に変更がある場合は、必要に応じてシール等を貼ることで差し替えられる。既に数社から東日本大震災の記載をする旨の連絡が入っている。他の会社においても同様の対応になると思う。

林委員長

先ほど、事務局から各種目についての質疑応答については、担当指導主事にさせたいとのことであったが、いかがか。

(異議なし)

林委員長

では、協議に入る。協議に先立ち、協議の進め方についてお諮りする。私たち教育委員も本日の教科用図書採択に向けいろいろな形で勉強をしてきた。事務局から事前に配付された教科用図書見本本や調査委員作成の資料、検討委員会作成の報告書などの各種資料も読んでいることと思う。進め方としては、検討委員会から出された「鎌倉市立中学校平成24年度使用教科用図書調査研究報告書」に記載されている国語から英語までの15科目を、1科目ごとに、どの教科用図書が最適か意見をいただきながら協議を進め、最終的に採択候補を1者選んでいくこととしたい。委員の皆様には、検討委員会から出された報告書の内容や教科書をご覧になっての感想や意見を出していただきたいと思う。協議の進め方についてはこのようにしたいと思うが、何か質問、意見はあるか。

質問・意見

(特になし)

林委員長

では、先ほど説明した進め方で協議を行っていききたいと思う。では協議に入る。

【国語】

林委員長

では、国語について質問、意見をお願いします。国語は5者から選ぶことになる。検討委員の報告では三省堂が☆2、教育出版と光村図書が☆3である。

下平委員

すべて目を通し、検討した結果、光村図書を採用したい。全体的なイメージとして、温かさや優しさが感じられる。具体的には、文法や漢字に関する資料が巻末に要領よくまとめられていて使いやすそうである。資料類がまとめられていることにより、教科書の中身がシンプルに読みやすく構成されている。それぞれの单元ごとに、目的が明確に表記されている。挿入されている資料も中学生向きに分かりやすく作られている。今世の中で求められている、話す・話し合いの項目に関して、スピーチ、インタビュー、プレゼンテーション、ディスカッション、バズセッション等、分かりやすく豊富にまとめられている。文章を書くという項目に関しても、感想文、批評文、手紙の書き方、意見文など盛りだくさんに取り上げられている。他により充実しているものもあったのだが、教科書を使って先生が教え、中学生が学ぶという視点から考え、光村図書に決めた。

朝比奈委員

私も光村図書を推薦する。私は特に中学一年生の教科書を見比べた。盛りだくさんな情報量でありながら、活字、フォントも見やすいという点で、光村図書が優れていると感じた。

林委員長

特に1年生の教科書について、何か考えがあれば聞かせていただきたい。

教育指導課指導主事

調査委員会では特に一年生について、ということでは検討していない。調査委員会でも、光村図書は資料等も良くできていて、使いやすい教科書であるという意見が出ていた。

林委員長

中一ギャップという言葉があるが、小学校との連携を考え、一年生に使いやすい教科書

を考えることも重要ではないかと感じる。

山田委員

私も光村図書が良いと思う。現代文と古典のバランスがとても良い。「学習を広げる」という部分が充実している。「本の紹介」も他に比べ本の数が多く、読書力を支える構成になっていると思う。国語は全教科の基礎となるととても大事な教科であるので、その辺りはとても重要だと感じる。

林委員長

私も光村図書を選んだ。国語は全ての基礎となる大事な教科なので、文章を読む力や、相手に説明する・伝えるという能力をどの教科書が一番学びやすいのか考えた。他の教科とも関連が高い教科である。教科書の活用方法について子どもたちに分かりやすく伝えている、各単元の目標を伝えてから授業が始まる、等がこの教科書の良い点である。目標も平易な言葉で分かりやすくまとまっている。目次の部分に工夫がある。東京書籍も課題や目標が明記されていて良いと思ったが、光村図書の方が勝る。教育出版については学習の進め方が光村図書と似ているが、光村図書の方が分かりやすいと感じた。

熊代教育長

新学習指導要領で、『言語活動の充実』が挙げられている。

- 1 国際的な通用性や小中校の円滑な接続を図る観点から充実した指導内容の記述をする。
 - 2 個々の児童生徒の理解の程度に応じた発展的な学習やつまずきやすい内容を繰り返す行う。
 - 3 家庭でも主体的に自学自習ができるよう丁寧な記述、練習問題・文章量の充実を図る。
- 以上のことを念頭に置きながら、選定を行った。

私自身が教えるとして、生徒に分かりやすく、表現がその学年にふさわしくよく考えさせるように工夫されているか、自学自習に適しているか、鎌倉市が進めようとしている小中連携に適しているかという観点から選んだ。生徒の立場からは、説明がよく分かり、興味を惹く教材が多く、問題を解く筋道がはっきりと分かる教科書が良いと思う。東京書籍はボリュームが大きすぎるのではないかな。もう少し内容を精査した方がよいと思う。学校図書は教科書のサイズが小さくなって厚みがあり違和感がある。文字も細かく見にくい。三省堂は短歌、俳句、漢詩を「声に出して読もう」がよい。巻末の漢字辞典もよいが、うまく教えなければ宝の持ち腐れであり、先生にとっては苦悩するかもしれない。教育出版は東京書籍と似ていて構成が分かりやすい。目的が明記されており、どんな生徒にとっても親切な教科書である。光村図書は現在鎌倉市の小学校で使用していて、内容も整理されており充実している。小中連携を考えても光村図書がよいと思う。

山田委員

光村図書の巻末には「色とことば」ということで日本の色彩と言葉を三年間通して紹介している。日本独特の微妙な色合いや美しい言葉が紹介されていて大変良い。

林委員長

ただ今の各委員のご意見をまとめると、国語は『光村図書』ということになると思うがよろしいか。

(異議なし)

林委員長

国語は『光村図書』を選定する。

【書写】

林委員長

書写について質問、意見をお願いします。書写は6者から選ぶこととなる。検討委員の報告では三省堂と教育出版が☆2、光村図書が☆3である。

朝比奈委員

光村図書は他者と違い3学年を一冊にまとめている。かつての書写の教科書とは違い、読む本としても楽しく、自分にも役立ちそうな出来ばえだと思う。特に光村図書は字体、バランスが良い。国語の教科書との連携もあるだろう。改めて読み返したりする際にも、書道に関しては一冊の方が読みやすいのではないか。そういった点から光村図書を推薦する。

山田委員

私も光村図書を推薦する。お礼状の書き方等があり、実用性にも優れている。硬筆と毛筆のバランスも良い。

下平委員

私も光村図書を推薦したい。一番の決め手は、毛筆の同じ言葉で他者と比較してみると、光村図書はくせがなくのびやかな筆の勢いが感じられる美しい字である。硬筆と毛筆のバランスが良い。資料は視覚に訴えてきて、分かりやすい。一冊にまとめられていることで使いやすいと思う。

林委員長

私も光村図書がよいと思う。書道は体を動かして覚えるものかと思っていたが、この教科書を見ると視角から学べるのだと感じた。筆のどこに力が入っているのかも視覚化していて分かりやすい。楷書・行書の違いも分かりやすく、論理的・合理的である。

熊代教育長

東京書籍は細かすぎる。大日本印刷は少しさみしい印象である。学校図書は内容はなかなかよかったのだが、一年生だけ分冊していて違和感がある。教育出版は丁寧なのだが、やはり分冊にしない方がよいと思う。光村図書は資料編もアイデアが良くまとまっている。私も光村図書がよいと思う。

林委員長

ただ今の各委員のご意見をまとめると、書写は『光村図書』ということになると思うがよろしいか。

(異議なし)

林委員長

書写は『光村図書』を選定する。

【地理】

林委員長

続いて、地理について質問・意見を願います。地理は4者から選ぶことになる。検討委員の報告では東京書籍と帝国書院が☆2、教育出版が☆3である。

山田委員

地理に関しては、世界にはこんな国やあんな暮らしがある、とわくわく夢を広げることができて、その中で知識を定着させることができる教科書が理想だと思う。各者とも巻頭に世界の暮らしの写真等を載せ工夫されていた。内容は似ているところが多いが、帝国書院のチェック&トライは課題の出し方がよいと感じた。帝国書院には題材に関して、共に生きる力を育むために、人の痛みが分かるような写真やコラムが多く取り上げられていて良い。地理の教科書は地図帳と連動して使うことが多いと思うが、教科書に出てくる地図を見ると帝国書院が見やすい。一方で、教育出版は神奈川に関する記載が最も多く、各章の

最後にある「地域から世界を考えよう」というコーナーの中で、原発と環境問題等の対極的に考えさせる問題を取り上げる等しており、視野が広がると感じた。非常に悩んだが、教育出版を選んだ。

下平委員

私は教育出版と東京書籍で最後まで悩んだ。2者共通して、男性と女性2人の先生が子どもたちと一緒に学ぶ構成になっていて親しみやすい。最終的に教育出版を選んだが、その理由は各章に記入式の課題があり自学自習をしやすい。「トライ」として、より上をめざしたい人に自分で調べたり勉強したりできるようになっている。「学習のまとめ」のページでは、試験前等に自分で確認ができるようになっており非常に使いやすい。社会に出た時に取り組まなければならないであろう地球規模、または日本全体の問題点を的確にとらえている。例えば、原発と環境問題等、事実を的確に表現している。温暖化問題も冷静に伝えている。「地球の窓」で、日本になぜ地震が多いのか、ヒートアイランド問題、今後の発電のバイオマス問題等が取り上げられている。今後の日本の課題として、山村の荒廃問題、他文化との共生、世界遺産の問題も的確に詳しく取り上げられている点が印象に残った。

朝比奈委員

私も教育出版を推させていただく。どこに注目すべきかよく分かるようにできている。社会は情報量が多いが、多様な内容が見やすくまとめられている。自学自習でも分かりやすい。神奈川県に関する情報が最も多いということも選んだ理由である。

林委員長

私も教育出版を推したい。各社、社会については似たコンセプトで構成されている。東京書籍はページの構成がまちまちで見にくいと感じた。教育出版は全体的な捉えや学習のねらい等も分かりやすく書いてあり、「トライ」の部分でさらに確認して欲しいと提案している点もよい。

熊代教育長

教育出版は、指導要領に挙げられている地理の4項目の目標に沿って作成されている。授業には工夫が必要だと思うが、資料が直近のものであり全体を通して内容も充実している。各者とも指導要領に沿った教科書で、資料写真も鮮明で分かりやすく、帝国書院か教育出版かで悩んだが、全体の充実を考え教育出版を推したい。

林委員長

特に地理や公民に関しては、今を扱うことが大切だと思う。新聞や教科書で現在起きていることを扱うことや、情報として流れている言葉を子ども達に理解させるような工夫も

していただきたいと思う。

ただ今の各委員のご意見をまとめると、地理は『教育出版』ということになると思うが、よろしいか。

(異議なし)

林委員長

では、地理は『教育出版』を選定する。

【歴史】

林委員長

続いて、歴史について質問・意見ををお願いします。歴史は7者から選ぶことになる。検討委員の報告では教育出版が☆2、東京書籍と帝国書院が☆3である。

下平委員

東京書籍だけがサイズが大きい。大きくても先生方の使い勝手は悪くないのか、生徒が混乱しないのかを事前に確認した。学年ごとに教科書は違ってくるので問題ないとのことであった。

朝比奈委員

各者色彩も豊かで、資料写真も充実している。それが裏目に出て、必ずしも見やすいとはいえないものや、ふさわしくない写真が掲載されている教科書もある。歴史を遡り過去にどんなことがあったか、その時の風物や文化等が楽しく思い浮かべられるような授業ができる教科書がよいのではないか。帝国書院の教科書に「タイムトラベル」とある。過去に遡る楽しみであり、構成も楽しく字も見やすい。鎌倉時代の説明では建長寺・禅・大仏等、特徴のある部分がきちんと掲載されている。「学習のまとめ」が充実している。どの教科書も良いのだが、比較すると帝国書院が良いと考える。

山田委員

私は東京書籍と帝国書院で迷った。東京書籍は本文や資料が充実しているが、やや詰め込み過ぎかと感じた。「深めよう」「歴史にアクセス」というコーナーがあり、見聞を広げる上で素晴らしいと感じた。帝国書院は年表の日本と世界の間、日本と海外の関わりという部分があり、とても見やすく評価できる。見開き2ページが1単元で、使いやすいと思う。帝国書院を推させていただきます。

下平委員

私も帝国書院を選んだ。先生の立場に立ち、教科書を活用しいろいろな工夫ができるものが欲しいと思う。帝国書院は先生と生徒が朱雀号というタイムマシンに乗りタイムトラベルをして歴史を遡っていく、という構成でわくわく感があり、時代を楽しむという構成が興味深い。「チェック&トライ」や「挑戦状クイズ」という形で子ども達が楽しくクイズに挑戦できる工夫がされている。一番評価した点は、各章、地理や公民とのつながりが非常に分かりやすくまとめられていた。「歴史の舞台」ということで、鎌倉や横浜が大きく取り上げられている。各時代のトピックスが冷静に事実を伝えていて、子供達が、自ら自分なりに考えられるように表記されている点が好感を持てた。

林委員長

私も帝国書院を推したい。各単元のねらいが質問形式になっていて、分かりやすい。ねらいからチェック&トライまで、もう一工夫あればさらに良いが、その先に何かあるか考えさせられるような構成になっていて評価できる。ページの構成は上半分が資料、下半分が文章で、統一感があって読みやすいと感じた。東京書籍も考察、内容等が良いと思ったが、帝国書院ほどの統一感がない。振り返り、教えやすさ、目標の明確さの観点でも帝国書院が一番良いと感じる。

熊代教育長

最近歴史や公民の教科書に漫画やイラストが多く少し気になる。東京書籍は本題に入る前にイラストを使い歴史の流れをざっと一通り展望していて工夫されていた。各章の写真やイラストも効果的に配置されているが、指導者側が資料の意味を捉え教える必要がある。教育出版は、指導要領に沿っていると思うが写真の資料が小さすぎるのではないか。清水書院は小学校で学んだ人物や出来事をきっかけに導入を図っている。オーソドックスでこれまでと変わらないスタイルを貫いている。帝国書院は、学習指導要領を順序よく追う形で展開している。資料やイラストはこれまでにないものが登場している。鎌倉時代では様々な職業が生まれ、それに伴い技術面も発展していった。特に糞尿から農業への発展を扱っている点が興味を惹いたのだが、このようなところから経済の発展や民衆の生活向上へ発展していく一面を取り上げているのは今まで気づけなかった方法である。全体を通して、資料が充実しており、歴史の考察や調べ学習の工夫など配慮が行き届いている。日本文教出版は、「歴史を学び歴史に学ぶ」というテーマのもと、効果的な資料写真を使い、その写真を通して文章を読むと一目瞭然である。しかし、資料の使い方は指導者側の力量にも左右されると思われる。自由社は、各章で欄外等を使いながら理解の深まりを期待して設問やコラムを設け、生徒の理解を深めている。育鵬社は、抽象的で未知の世界を学ぶ子ども達にとっては、最初に何かしらのテーマがあった方が学びやすいのではない

か。以上、比較検討した結果、歴史の考察、資料の充実、調べ学習の工夫等、随所に配慮が行き届いている帝国書院が良いと思う。

林委員長

中国人の名前等は漢字で読んでしまうことがあるが、是非、音で教えていただきたいと思う。

ただ今の各委員の意見をまとめると、歴史は『帝国書院』ということになると思うが、よろしいか。

(異議なし)

林委員長

では、歴史は『帝国書院』を選定する。

【公民】

林委員長

では、公民について質問・意見を願います。公民は7者から選ぶことになる。検討委員の報告では教育出版が☆2、東京書籍が☆3である。

林委員長

私から意見を言わせていただく。公民は東京書籍がいいと思う。全体的にだが、経済教育に関しての記載が少ないと感じた。子ども達には、経済の法律や契約行為等について、義務教育の中で伝えなければならないことはもっと多いと思う。昨今の振り込み詐欺等の犯罪に巻き込まれたり、加害者になってしまうケースもある。契約やその他法律に関する知識が足りないことが原因ではないかと思う。経済教育について分かりやすいのは東京書籍だと思う。言語活動に配慮しており、コミュニケーションの手段として、どのように相手に伝え、説明するのかという言語活動と関連性が高い。「公民にアクセス」や「深めよう」のコーナーでさらに深める学習につながっている。見開き2ページが1単元で、ねらいから確認、「公民にアクセス」でさらに学習を深めるという構成が評価できる。新聞を使ってという話も出たが、経済教育についても時事問題を多く扱って欲しい。☆2の帝国書院も「クローズアップ」で問題意識をさらに高め、ディスカッションする仕組みが出来ているが、東京書籍の方が優れていると感じる。

下平委員

私も東京書籍を選んだ。東京書籍だけサイズが大きく特殊だったが、大きくなった分見開き2ページにすっきりとまとめられていて、非常に読みやすかった。「トライ」、「確認」は、それぞれエピソードを挿入して興味をそそるようになっている。マーク表示が読みやすい。「チャレンジ」、「深めよう」などの項目で自学自習が図れるようなつくりになっている。章の振り返りの部分に「みんなで考えよう」という項目がある。公民は公の民と書くように、みんなで話し合っ結果を導いていくということが社会に出ても大切な要素だ。先生の使い方にもよるが、みんなで考えようという項目でクラスでの話し合いを深めるという活かし方もできる。具体的なことになるが、中学時代は社会の経済に関して興味関心を開く大切な時期だと思うが、例えば市長になって企業の跡地利用を考えてみようとか、コンビニの経営者になってコンビニ経営について考えてみようとか、お金の使い方をしっかりと考えさせる。レポートの作成に関しても分かりやすく何種類かのレポートが表記されている。いろいろな意味で見やすく工夫があるのが東京書籍である。

朝比奈委員

私も東京書籍を推す。サイズが大きく見やすいと思う。帝国書院は格調高く迷ったが、東京書籍はクイズ形式で提案している所が学習しやすいと思う。「公民にアクセス」や「チャレンジ」で注目すべきところが明らかで優秀だと感じた。

山田委員

私は東京書籍と教育出版と帝国書院で迷った。見た目では帝国書院がオーソドックスで落ち着いており見やすいと感じる。公民は非常に捉えづらい教科だが、東京書籍は用語解説が充実していてよい。全体的に見ると、調査委員会でも評価の高い東京書籍が良いと思う。

熊代教育長

公民という教科は、生徒自身の日常生活に結びつけながら考えていかないといけない教科だ。それがないと単なる覚える教科になってしまう。その点から考えると、東京書籍は資料がかなり充実している。生徒の発達段階に応じた大変わかりやすい資料が多数掲載されている。帝国書院の中身も素晴らしいと思うが、東京書籍を推したい。教育出版は、資料が訴えかけるものが生徒には分かりにくいと思う。清水書院は全体的にボリュームが大きい。日本文教出版はオーソドックスで指導者の力に頼るところが大きいと思う。自由社は重厚な内容で学年に応じた内容になっている。育鵬社は独自の資料を取り上げ、他の教科書ではあまり強調されない内容を取り上げられ生徒達に問題を投げかけている。指導者の力量が問われるであろう。検討の結果、東京書籍を推したい。

林委員長

新学習指導要領で職業観やキャリア教育に重点を置くべきだということになっているが、公民で取り扱える部分が多いと思うので、力を入れていただきたい。教科書全体を見て感じたことだが、日本と外国ではなく、世界の中の日本という視点を子ども達に教えたい。中、高校生と話しをすると、海外での仕事のイメージが膨らまないと言うが、公民の中で夢や希望を持てるよう訴えることができると思う。子ども達がいろいろなことを考えるきっかけになればいいと思う。

ただいまの各委員の意見をまとめると、『東京書籍』ということになると思うがよろしいか。

(異議なし)

林委員長

それでは、公民は『東京書籍』を選定する。

【地図】

林委員長

では、地図について質問・意見を願います。地図は2者から選ぶことになる。検討委員の報告では東京書籍が☆2、帝国書院が☆3である。

山田委員

見やすさから帝国書院を選んだ。大人になっても残っている教科書は地図張で、いつ見ても夢が広がるものだと思う。どのページを見ても使いやすいのが帝国書院だ。さすが伝統ある出版社である。

下平委員

私も帝国書院だ。比較しても、印刷が鮮明で配色もよく見やすい。大きなサイズでもあり非常に見やすい。資料の活用のための「地図を見る目」、「資料図」も大変充実している。

朝比奈委員

私も帝国書院を推したい。どんな工夫でこんなに差が出るのかと思う程、明らかに見やすい。東京書籍はオーソドックスで昔からある感じである。帝国書院は目に優しく小さな字もはっきり見える工夫がされている。カーナビやパソコンが発達しても手元に置いておきたい、そんな教科書である。

林委員長

子ども時代に使っていて良かったというイメージがあるが、イメージだけではなく中身も帝国書院が読みやすい。

熊代教育長

私も帝国書院だ。自学自習、繰り返しの勉強という意味でも良く、一般の旅行に持って行っても良いほど詳しい。

林委員長

質問だが、国境等が変わった場合、差し替えはするのか。

教育指導課指導主事

シール等で対応する。

林委員長

ただ今の各委員のご意見をまとめると、地図は『帝国書院』ということになると思うがよろしいか。

(異議なし)

林委員長

では、地図は『帝国書院』を選定する。

【数学】

林委員長

では、数学について質問・意見を願います。数学は7者から選ぶことになる。検討委員の報告では、学校図書が☆2、東京書籍と教育出版が☆3である。

理科とは違い、小学校や他の学年との関連性が教科書の中には書いてないが、どのようにして関連性を教えていくのか。

教育指導課課長補佐

数学は斜めのスパイラルで教えていく。

林委員長

学習指導要領について、工夫できることはあるか。

教育指導課課長補佐

検討委員会、調査委員会の中では、数学がどのように日常生活の中で使われているかということが挙がっていた。

林委員長

理科では各学年や小学校との関連が分かりやすく記載されている。数学ではどの教科書にもその記載がなく気になった。以前にいつ習ったのか振り返る時に、ガイドラインがないと非効率的だ。そのことを先生によって伝える、伝えないのばらつきがあるとよくない。先生方も情報を共有していただき、戦略をたてて授業をしてほしい。

続いて意見を申し上げる。私の方からは東京書籍を推したい。「ちょっと確認」や例題で問題が豊富に取り入れられていて、他社に比べ1割ほど問題が多いと感じた。問いかけが各所にあり、イラスト等を使いここがポイントなのかと考えさせる。巻末の「生活と数学」「数学の探究」等で日常生活への視点を深めている。章末の問題Aはここだけは押さえておきたいポイント、問題Bは発展し人に伝える能力を伸ばす。学校図書は紙がペラペラしていて使いにくく、内容では問いかけが少なく感じた。教育出版の「話し合おう」は評価できるが、振り返りや問題の出し方等で東京書籍のほうが優れている。

下平委員

東京書籍と教育出版を比べてみると、紙面の微妙な色合いや色使いの違いにより、すっきりと見やすいのが東京書籍である。問題A、Bも難度の違いがあり、工夫されていると思う。基本問題、まとめ、やってみようで興味を持てる。表紙もすっきりしている。以上の理由から東京書籍を選んだ。

朝比奈委員

私も東京書籍を推したい。整理されたきれいな紙面であり、振り返るポイントがどこにあるかや言葉に関する工夫がある。

山田委員

各社とも日常生活とのつながりが工夫されている。身近に感じるという点では3社も同じだが、東京書籍は、お湯の沸く温度と時間を2次関数で学んだり、バスケットのシュートの数と連立方程式等、身近で分かりやすい。「生活と数学」もおもしろく、摂氏と華氏の違いのように、分かりにくい箇所が取り上げられている。

熊代教育長

国語、数学、理科は各社内容が大変充実している。どの社も練習問題が多くなっており、自学自習ができるように考えられている。啓林館は高度な数学と言われていたが、今回そのイメージはない。どれを選んでも大丈夫だという気がするが、検討し東京書籍を推す。

林委員長

ただ今の各委員のご意見をまとめると、数学は『東京書籍』ということになると思うがよろしいか。

(異議なし)

林委員長

では、数学は『東京書籍』を選定する。

【理科】

林委員長

では、理科について質問、意見ををお願いします。理科は5者から選ぶこととなる。検討委員の報告では東京書籍と大日本図書が☆2、学校図書が☆3である。

林委員長

理科は私から意見を述べる。理科については、学校図書を推したい。自由研究の進め方について、一番分かりやすく使いやすい。観察、実験の進め方も基本に戻りやすく、目次から検索して目的の場所にたどりつける。また、デジタル教材の紹介は学校図書だけであった。インターネットを使い色々な実験をビジュアルで見られることにより、学びや気付きも多いのではないかと感じる。限られた時間の中でたくさんの実験を扱うためには、デジタル教材は有効だと考える。他学年との関連も分かりやすい。小学校の教科書も学校図書だったと思うので小中の連携も良い。小中続いてよくできていると感じた。大日本図書については、そういった意味で関連性が薄く、もうひと工夫必要だ。全体の流れも学校図書と比べ、分かりにくい。以上の理由から学校図書を推したいと考える。

下平委員

各社の教科書のネーミングだが、教育出版が自然の探究、大日本図書が理科の世界、啓林館がサイエンスである。昔は生物・化学・物理等で分かりやすかったが、使用する先生方は分かりにくくないのか。なぜこのようなネーミングになったのか。

教育指導課課長補佐

ネーミングについては決まりはなく、上の方に小さく理科と書いてある。子どもたちには混乱はないと思う。

下平委員

私も学校図書を選んだ。行間が広く見やすくすっきりしている。チャレンジ、実験項目が充実している。単元末問題で試験前の確認ができる。特に学校図書は、身の回りの物質や現象から科学の世界にいざなっていることから、学校図書を選んだ。

朝比奈委員

私も学校図書を選んだ。行間が広くとられていて見やすい。実験はカラフルで楽しそうに紹介されている。ノートがいらないくらいにきちんとイラスト入りで紹介されていて、自学自習にも役に立つ。「科学の窓」でクローズアップした紹介も分かりやすく楽しい。以上の理由から学校図書を推したい。

山田委員

私も同じく学校図書を推す。小さな子どもは日常生活の中で、「あれはなんなの」とか、「どうしてこうなるのか」等の質問をするが、理科学的な内容が多く、うまく答えられないこともあった。学校図書の「身の回りの現象」の部分で勉強できることであった。よくできていると感じる。

熊代教育長

東京書籍は学年ごとのきめ細かい配慮がある。1年では身近な出来事や現象から掘り起こして分かりやすく解説し2年3年へとつなげていくが、ボリュームが大きい。巻末の資料と基礎操作に工夫が必要かと思う。大日本印刷は1年の初めに基礎操作があるのがよい。前回に比べると分かりやすくなり、論理展開が素晴らしい。学校図書は写真の写りがとても素晴らしく、子ども達が教科書から得るものは大きいと思う。教育出版は、なぜ理科を学ぶのかという問いかけから始まり理科学習の進め方へ展開する部分が、理科好きな生徒は勿論、苦手意識のある生徒にとっても理科学習に対する意識付けにはよい。啓林館は教材の写真が非常に大きく説明が丁寧である。「マイノート」は使い方をしっかり指導しないと書き込むだけで終わってしまうので、いつどのように使うのが重要だ。私は学校図書と大日本印刷で迷ったが、皆様の意見も聞き、学校図書がよいと思う。

林委員長

ただ今の各委員のご意見をまとめると、理科は『学校図書』ということになると思うがよろしいか。

(異議なし)

林委員長

では、理科は『学校図書』を選定する。

【音楽一般】

林委員長

では、音楽一般について質問、意見を願います。音楽一般は2者から選ぶことになる。検討委員の報告では教育出版が☆2、教育芸術社が☆3である。

朝比奈委員

☆2と☆3なので僅差なのだろうと思う。2社とも、誰でも知っている昔からある伝統的な曲も紹介し、声を出す時の口の動きなどもある。比較すると教育芸術社のほうが見やすい。見やすいということは大事なことだと思う。

山田委員

かねてから音楽教育については、日本の打楽器より西洋的なものに触れていて、日本の楽器は珍しいものとして扱われることが不思議だと思っていた。教育芸術社は日本の音楽や歌舞伎等を取り上げている。学習指導要領にも指摘されている、著作権の資料などにも触れている。子どもたちは音楽のダウンロード等がなぜ出来ないのかということで著作権に興味を持っている、そんな部分も良いと思い教育芸術社を選んだ。

下平委員

甲乙つけがなかった。全体的な印象として、教育芸術社のほうが写真と色使いがいい。資料が豊富で発展的な学習ができる工夫がある。「レッツクリエイト」、「ここが分かればGrade Up」でさらに発展的な興味を促すような工夫がある。日本の楽曲、楽器、芸能の紹介も豊富である。

熊代教育長

言語活動の充実に関する指導事例で音楽について、「音楽を形作っている要素や構造と曲調との関わりを理解して聴き、根拠を持って披露するなどして音楽の良さや美しさを味わうこと」とある。教育出版は音楽への興味関心を持たせて、基礎的な部分から生涯にわたり音楽に親しみを持ち続ける配分がされている。目的達成のために日本情緒豊かな物から、

現代感覚を持ったものまでしっかりと盛り込まれている。教育芸術社は教材に学習の目当てが明記されており、内容も豊かだ。甲乙つけがたいが敢えて言うなら教育芸術社がよいと思う。

林委員長

ただ今の各委員のご意見をまとめると、音楽一般は『教育芸術社』ということになると思うがよろしいか。

(異議なし)

林委員長

では、音楽一般は『教育芸術社』とする。

【音楽器楽】

林委員長

では、音楽器楽について質問、意見を願います。音楽器楽は2者から選ぶことになる。検討委員の報告では教育出版が☆2、教育芸術社が☆3である。

朝比奈委員

これも同一2者で甲乙つけがたい。和楽器が導入から出ているのが教育出版だ。中学生にとってなじみ深いのかどうかは疑問だ。教育芸術社は慣れ親しんだりコーダーから入っていて、流れとしては良いのではないか。残念ながら、和楽器はポピュラーではない。音楽一般とのつながりも考え、教育芸術社のほうが良いのではないかと思う。

山田委員

日本語を経て英語を習うように、和楽器の音を聞いてから西洋的な音楽に行くのもいいのではないかという面からは教育出版も良いと思う。しかし教育出版は和楽器そのものに力を入れているのに対し、教育芸術社は日本音楽やポピュラーなものも扱っているという点で生徒にとっては親しみやすいと思い教育芸術社を選んだ。

下平委員

音楽一般と同じ理由から教育芸術社を選んだ。

熊代教育長

私も教育芸術社を推したい。小学校とのつながりを重視しながら、伝統文化を理解させようとも配慮されている。音楽に親しみやすさを感じさせる内容になっており、このあたりがわずかだが教育出版とは違う。

林委員長

文部科学省のプログラムで、能や日本固有の文化が紹介されることも多いと思う。長谷の舞台との連携も継続している。教科書だけで教えることは難しい部分もあるので、日本固有のものについて工夫をして深く教えていただきたい。

ただ今の各委員のご意見をまとめると、音楽器楽は『教育芸術社』ということになると思うがよろしいか。

(異議なし)

林委員長

では、音楽器楽は『教育芸術社』を選定する。

【美術】

林委員長

では、美術について質問、意見をお願いします。美術は3者から選ぶことになる。検討委員の報告では日本文教出版が☆2、光村図書が☆3である。

山田委員

美術という教科は軽視されがちな教科であるが、金融の世界ではアートを投資品に扱ったり、経済活動とも密接に結びついていると思う。証券会社の方でもアートについての説明会が活発に行われており、企業家は余裕が出てくると美術品を収集する傾向が強いので、証券会社の方ももっと勉強する必要があるということだ。また、接待の席でも開催中の展覧会のことが話題にのぼったりするので、因数分解や化学変化よりも実社会では実用的なのかもしれない。そういった観点からすると、情報量が足りないのではないかと残念に思う。私の外国での高校時代の美術の教科書は厚く、他にも覚えることがたくさんあった。世界の名品に触れているか触れていないか、作家の名前が耳に入っているかどうかはその後興味を持つかどうかにおいて重要だと感じる。楽しく制作するだけでなく、鑑賞も大事にしてほしい。日本文教出版は美術視をみかく上で重要な色彩が美しく格調高い。国内外の名品も多く収容されている。光村図書も技法等の紹介は充実しているが、図画工作の域を大きくは超えていない感じがして美術としては物足りない。新指導要領に求められて

いる文化の理解を深めるという意味でも、文化都市鎌倉の子ども達には充実した美術教育を受けてほしいという気持ちをこめ、日本文教出版を選びたい。

下平委員

検討委員会の星では日本文教出版は☆2だが、あえて日本文教出版を推したいと思う。光村図書が劣っているという意味ではない。光村図書の特徴の風神・雷神は確かに迫力があるが、日本文教出版も燕子花図屏風の表紙の迫力がある。日本は色の知識の教育が遅れているので、知識として中学時代に知って欲しいと考えているが、光村図書は色の知識の記述が少なく残念だった。日本文教出版では建長寺のリーフレット作成、私と茶の湯の心が取り上げられている。感動の共有という記載もあり、良い取り上げ方だと思った。そういったことから日本文教出版を選びたい。

朝比奈委員

美術は何を学ぶのか、美術的な技法か、審美眼か、歴史かを考えながら検討し、日本文教出版か光村図書で悩んだ。情報として豊かで格調が高いという意味では日本文教出版がよろしいが、中学生の教科書としてみた場合には少し面白みがなく、取り上げている写真のセンスがない。光村図書は、神奈川県に関する作品が最も多く取り上げられているというレポートもあり、教科書としてみると良いのではないかな。

林委員長

私は美術が苦手であり、テクニカルなことはまったく教えてもらう機会がなかった。光村図書の教科書を見て、こうすればいいんだ、というイメージが膨らんだ。観ることと作ることは若干違うのかも知れないが、私としては作ることに重点を置いて頂きたい。基本の技術的なことが分かりやすいのが光村図書だと思う。美術館や博物館などで本物に触れると分かることがたくさんあると思うので、子ども達にはぜひ写真ではなく本物を見ていただきたい。どちらもよいと思うので、技術的な記載が多い光村図書を推したい。

熊代教育長

芸術鑑賞に主眼を置くのか、現実的なところで子どもの考え方を大事にするのか。光村図書は色彩が豊かで生徒の作品を多く取り入れている。身近な題材が多くヒントになりやすいものを選んでいく。各ページの上部に目標が書かれていて、目標を意識していなかった生徒にも分かりやすい。先生にとっても使いやすいと思う。子どもたちに身近な光村図書がよいと思う。

林委員長

少し意見が分かれたが、さらに意見があればお願いします。

山田委員

先生方には美術館訪問等で、本物に触れる機会を作ってほしい。ただ、本物に触れる前に予備知識は必要だと思うので、教科書で名品に触れ、それを見たいという気持ちにさせ、それから本物に触れるという学び方が良いのではないかと思う。

林委員長

各美術室等に本物を観ることができる本などはあるのか。

指導主事

授業の中で美術館めぐり等はなかなか難しいと思うが、図書室や図書館で資料を観ることができると思う。

教育指導課長

中学校の美術の鑑賞という分野では、教科書に載っている写真を観ることはもちろん、美術科で画集を購入したり、大きく引き伸ばした写真を貼りだして鑑賞したりしている。

林委員長

それぞれの学校でいろいろ工夫をしていることと思う。作品集の寄贈を受けたりすることもあると思うが、そういった資料は各学校で持っているのか。

教育センター所長

学校に作品を寄贈していただくことはあり、美術部等で活用していた。授業では、模写としていくつかの作品の中から自分で選んだものを模写するということをしていた。

林委員長

学習指導要領の中ではA表現、B鑑賞とあるが、表現の部分は日本文教出版では足りないと思う。鑑賞の部分は各学校工夫して取り組んでほしいと思う。

下平委員

先ほどは日本文教出版を推したが、光村図書に遜色があると感じている訳ではない。確かに光村図書は技術的なことを取り上げている点は評価できる。昔とは違い自分が希望すれば、本物を観ることができる時代である。先生方が興味を引き出す授業をしていただければいいのではないかと思う。

林委員長

ただ今の各委員のご意見をまとめると、美術は『光村図書』ということになると思うがよろしいか。

(異議なし)

林委員長

では、美術は『光村図書』を選定する。

【保健体育】

林委員長

では、保健体育について質問、意見をお願いします。保健体育は4者から選ぶことになる。検討委員の報告では学研が☆2、東京書籍が☆3である。

下平委員

中学生の頃からストレスの対象を知っておいて欲しい。かたくなにならず柔軟な物の見方ができれば、ストレスが加わった時に視点を他に向けることができる。各社、心の健康を取り上げているが、内容が充実している点、保健編から取り上げている方が自然だという点、現代社会の中で学生に知っておいて欲しい問題点、例えばストレス、心の健康、生活習慣病、禁煙、薬物、自転車の危険性、熱中症対策が十分に取り上げられている。表紙も目を引き親しみやすく、内容も見やすいので東京書籍を選んだ。先生も生徒も非常に使いやすいそうである。章だてと振り返りが明確である。心の健康、ストレス対策が中学生にも分かりやすく説明されている。体と心の発達からスタートし、中学生に知っておいてほしい問題点が明確にまとめられている。特に14ページの、「本当に親密であるということはどういうことなのか」、で愛情関係、友情関係に関して全体的に扱っている。最近は大學生でもうわべだけ波風立てずに付き合っていくのがいい人間関係だというような誤解があると思う。自分を信じ、相手を信じ、真剣に関わっていくことに触れておいて欲しいと思う。社会性と経験がいかに関係に必要か、心と体の関係について、ストレスとストレス対処法についても具体的に触れている。検討の結果、東京書籍を選びたいと思う。

朝比奈委員

私も東京書籍を選びたい。保健体育の授業はこんなに多様だったのかと驚くほどの情報量である。各社、心の問題やメールの事に触れたりして現代ならではの感じだが、中でも東京書籍が内容も整理されており、分かりやすい。

山田委員

大日本図書は写真が鮮明で分かりやすく見やすい等、各社いい点があると感じた。保健体育の情報量は本当にこんなに必要なのかという思いもあるが、思春期の性的なことや赤ちゃんの誕生等は、親子間で教えることは難しく、教科書から学べるといいと思う。そういった点も東京書籍は明確だったので、東京書籍を推したい。

林委員長

保健については今すぐ必要な内容ではないと思うが、知識としては持っていないといけないのだと思う。例えば、薬物や喫煙が危険だという基本的な情報を子どもたちに伝えるべきだろうと思う。戻りたいと思った時に東京書籍が一番戻りやすいと思う。保健体育の学習方法について、プレインストーミングやロールプレーイングの紹介も分かりやすい。章末の資料も写真が多く分かりやすい。学研は章末の資料のチェック項目が少なく探求の意図が分かりにくい。

質問だが、最初は東京書籍も学研も☆3だったと思うが、学研を☆2にした理由は何か。

教育指導課指導主事

振り返り等の学習の進め方をもう一度検討した結果、東京書籍の方が良いと判断した。

熊代教育長

東京書籍は皆さんが発言したとおりの内容で、分かりやすく丁寧に一つ一つの事柄を取り上げている。大修館は中学生にもう少し思考力を働かせる内容であってほしかった。大日本図書は内容のボリュームが大きすぎるのではないか。検討した結果、東京書籍がよいと思う。

林委員長

ただ今の各委員のご意見をまとめると、保健体育は『東京書籍』ということになると思うがよろしいか。

(異議なし)

林委員長

では、保健体育は『東京書籍』を選定する。

【技術】

林委員長

では、技術について質問、意見ををお願いします。技術は3者から選ぶことになる。検討委員の報告では東京書籍が☆2、開隆堂が☆3である。

朝比奈委員

かつて技術は、木工作やはんだ付け程度だった気がするが、園芸やエネルギー問題など非常に多様な内容である。原子力発電所のこともエネルギー問題の部分で取り上げられている。多様な情報を見やすく、鎌倉市が行っている学習にもきちんと対応している開隆堂がいいと思う。

山田委員

技術は、社会や理科とリンクするところがあり、技術の教科書は全社ボリュームがあると感じた。大差はないと思うが、一番使いやすいそうなので開隆堂を選んだ。

下平委員

内容をさっと見た時には東京書籍に魅かれた。家庭分野は開隆堂がいいと思い、子どもの視点から同じ会社のものの方が使いやすいのではないかと思い、技術も開隆堂という決定をした。

林委員長

まず質問だが、学習指導要領の変更に伴って情報に関する部分が少なくなったのではないか。

教育指導課課長補佐

情報に関する基礎的な部分は小学校で学ぶことになったので、中学校では制御等を重視していくことになった。小学校でマウスの使い方や、ファイルの保存の仕方、モラルについても簡単に学習している。

林委員長

私も開隆堂がいいと思う。各単元の目標設定や振り返りが、東京書籍より開隆堂のほうが分かりやすいと思う。

熊代教育長

各社、エネルギー問題を真剣に取り上げている。東京書籍で気になったのは、原子力・火力・水力・太陽光に関してそれぞれ課題を挙げているが、どうしたらいいのか、もう少し踏み込んだ記載がほしかった。開隆堂は写真等を使い、きめ細かく分かりにくい部分を

分かりやすく説明している。

林委員長

ただ今の各委員のご意見をまとめると、技術は『開隆堂』ということになると思うがよろしいか。

(異議なし)

林委員長

では、技術は『開隆堂』を選定する。

【家庭】

林委員長

では、家庭について質問、意見ををお願いします。家庭は3者から選ぶことになる。検討委員の報告では東京書籍が☆2、開隆堂が☆3である。

下平委員

東京書籍と開隆堂で悩み最終的に開隆堂にした。それぞれの学習の目的と振り返りが明確であり、先生方も試験前等で使いやすいのではないかと思う。家庭関係が希薄になってきている中で、成長と家族の関わりが第一章で取り上げられている点は評価できる。心の発達と幼児との触れ合いに関して、開隆堂は分かりやすく自ら考えられる構成になっている。日本の伝統文化のおせち料理、郷土料理がまとめられているページは非常に興味深い。鎌倉のけんちん汁が記載されているのは開隆堂だけであった。アンジェラ・アキさんの手紙という詩や、ピアノ演奏で著名な辻井さんの話が取り上げられていて、興味深く学べるのではないかという理由で開隆堂を選んだ。

朝比奈委員

家庭も技術も授業から関心を深めてこれに関する職業につく時に非常に助けになるのだからとを感じる。興味のない生徒もいるかもしれないが、自立にも役立ち食育の面でも自分で栄養面の配慮ができるようになる。この度の災害等、何かあった時に料理や洋服の繕い等が役立つと思う。そういった意味でもおろそかにしてはいけないと感じた。開隆堂は料理もおもしろそうで、後にも役立つ教科書だと思う。

山田委員

持っているとい生役に立つ教科書だと思うが、逆に言うと授業だけでは履修できないほどのボリュームがあるのではないかと思う。家庭科は保健体育の内容と重なっている部分が多い。技術も理科と重なるところが多く、時間数の少ない教科にとっては少しボリュームが多すぎるのではないかと感じた。東京書籍も和服と洋服の比較や着こなしが載っていると思うが、総合的に開隆堂がいいと思う。

林委員長

玉ねぎのみじん切りの仕方は東京書籍の方が分かりやすいと思った。マナー等の日常生活に関しては開隆堂のほうに記載が多い。包丁のとき方は授業ではやらないのか。

教育指導課課長補佐

やっていない。各学校の対応は分からない。

林委員長

料理のレシピの数は東京書籍の方が多いが、全体的な読みやすさ等では開隆堂がいい。技術科とのつながりも考え開隆堂がいいと思う。

熊代教育長

東京書籍はコンパクトな記述でまとめられている。教育図書は全体的に煩雑なところがある。開隆堂はコンパクトさは足りないが、伝統文化を大事にしており、細かい技術が身につくように基礎・基本に配慮されている。私も開隆堂を選んだ。

林委員長

ただ今の各委員のご意見をまとめると、家庭は『開隆堂』ということになると思うがよろしいか。

(異議なし)

林委員長

では、家庭は『開隆堂』を選定する。

【英語】

林委員長

では、英語について質問、意見を願います。英語は6者から選ぶことになる。検討委

員の報告では三省堂と開隆堂が☆2、学校図書が☆3である。

山田委員

どの教科書も、求められている「コミュニケーション能力の育成」に非常に力を入れていると感じられた。開隆堂の SUNSHINE は楽しくわくわくする内容で、小学校では習わず英語が初めてだとしたら、一番親しみやすく英語に入れるのではないかと感じた。3年生では「日本について話そう」ということで、日本の暮しや伝統文化について紹介しており日本を発信するという点では一番充実していると感じた。学校図書の TOTAL ENGLISH は場面設定が明確で、道案内や入国審査等、外国を旅した時に実用性のある内容が取り上げられているが、日本を紹介するという点では一番劣ると感じた。三省堂の NEW CROWN は英語でのプレゼンテーションが豊かで、3年生では日本の食文化や暮らしについて説明があり、自己表現活動が充実していると感じた。読み物も非常に充実しており他よりも少しレベルが高いと感じた。現場の調査委員会の意見も加味し、場面設定が明確な TOTAL ENGLISH が実際の授業の中では一番使いやすいということなので、学校図書の TOTAL ENGLISH を推す。

下平委員

私は三省堂に一番魅かれた。内容量も豊富で文法等の表記も明確である。ただ1年生から文字がかなり小さく文法も多く盛り込まれているので、抵抗を感じる生徒がいると困ると感じた。学校図書は学年によって文字の大きさや文法量も違い、特に1年生は生活の中の身近な単語から興味を広げていくように作られており、導入が上手くできるように考えられている。色使いやイラストも清潔感、親しみがありすっきりと見やすい。復習、確認チェックの項目が明確で最終的には学校図書を選んだ。

朝比奈委員

私も学校図書を選ぶ。カラフルで楽しい教科書である。小学校でも英語の授業があるので1年生の教科書も高度だと思うが、分かりやすく解説されている。

林委員長

質問だが、「聞く・話す・読む・書く」のバランスで、学校図書はどういった点が評価されたのか。

教育指導課指導主事

今までの学習指導要領では特に「聞く・話す」に重点を置いていたが、新学習指導要領では「聞く・話す・読む・書く」をバランスよく教えていくことになった。調査委員会では学校図書が一番4項目のバランスが良いと考えた。

林委員長

三省堂は「読む」素材が非常に多く、重点を置いていると感じた。学校図書は三省堂と比べコミュニケーションが分かりやすく、「書く」「読む」もバランスよく含まれている。開隆堂は基礎・基本は分かりやすい。私は開隆堂も良いと思うが、調査委員の先生方が鎌倉の子ども達に一番ふさわしいと選んだ学校図書を推したいと思う。

熊代教育長

東京書籍は1年生の最初は抵抗感がなく入れると思う。文法等が多すぎる感じがするので、コミュニケーション能力を大事にしてほしい。開隆堂は最初の入り方が面白い。学校図書は小学校英語との連結も考慮していてよい。三省堂は小学校英語とのつながりが少ない。教育出版も光村図書もそれぞれよい点があるが、比較すると学校図書がよい。

山田委員

英語はすべての教科とリンクするものだと思うので、教科書だけでは足りない部分がある。例えばサイズや長さ、温度、重さ等、又円高が進む中、為替の換算を英語でどのように言うのか、世界標準に合わせた資料を使いながら楽しく学べると実用的で、時事問題を英語で読むなどの興味もわいてくるのではないか。副教材もうまく使ってほしい。

教育指導課指導主事

単位に関しては、例えばショッピングの場面でお金のことのように、それぞれの場面で指導している。

山田委員

英語を使う仕事をしているが、外国の方から日本のことをよく聞かれる。各社、英語で日本の紹介をするというページがあるが、日本や鎌倉の自慢したいところを英語で紹介できるような実習をして、英語で話すことに興味が出るようにしてほしい。

林委員長

開隆堂の2年の教科書に「将来の夢を語ろう」というところがある。大学生と話すと、この人に夢があるのだろうかと感じることがある。中学生だからこそ大きな夢をのびのびと語れるようにしてほしい。

ただ今の各委員のご意見をまとめると、英語は『学校図書』ということになると思うがよろしいか。

(異議なし)

林委員長

では、英語は『学校図書』を選定する。

以上で平成24年度に使用する中学校教科用図書の選定についての協議を終了する。ただいまの協議結果をもとに、議案13号を上程したいと思うので、事務局に資料の作成をお願いします。

下平委員

各委員、本業を持ちながら今回の選定に真剣に取り組んできた。大変ではあったが、工夫のある各教科書に自分の中学時代よりも親しみ、勉強させていただきこのような機会に感謝している。今日も傍聴の方が沢山いらしているが、鎌倉に住んでいる方や先生方が子どもたちの健全な教育に関して非常に高い関心を持っていることに感動を覚えた。大事なのはここからである。素晴らしい教科書が採択されたので、それが子どもたちの豊かな成長と各教科への興味関心を広げるということに活用されることを心から願う。将来の夢を語るという話だが、語る以前に夢や希望がない子ども達が増えているのも現実だ。経済成長期と違い、先行きが不安な時代ではあるが、一番大切なことは、親や先生がきらきらと生き生きと生きているかどうかだ。大人達がきらきらと生き生きと生きていて、先生たちも楽しそうに働いている、その姿が未来に生きていくことに対する夢や希望を何より育てると思う。それぞれの鎌倉市民が心も体も健康で生き生きと笑顔で生きている、それが子どもたちへの教育になるのではないかと思う。先生方にもこのような教育委員の思いを伝えていただけたらと思う。

朝比奈委員

常に鎌倉の子どもたちを思い、教科書も鎌倉の子ども達に適うものを選びたいと思っている。教科書だけではなく授業の内容でクリアしていただきたい。鎌倉には多くの外国からの観光客がいらっしゃるので、その方々のガイドをする等、鎌倉らしい勉強ができると思う。我々も常に協力していきたい。

山田委員

世界の中の鎌倉の教育という視点を常に持っている。鎌倉だけではなく、世界に出て行った時に通用する教育を一人ひとりに施されることが一番大事だと考える。たくさんの情報が入った教科書だが、どれだけ自分の中に残っていくのか、やはり一生勉強である。国際競争力をつけることと、一方で国際社会に流されずに日本独自の価値観と誇りを持って生きる、という2つの矛盾したものをどうやって教育していくかということが最大の課題だと思っている。

林委員長

子どもたちから見ての善き職業人はまずは先生方である。先生方が生き生きと自己実現をしているのかどうかを子どもたちは見ていると思う。職業を通じて先生方が何を実現したいのか、子ども達にもっと語っていいのではないかと思う。目指す子ども像、教師像をもっと伝えて、そこから職業人はどういうものなのかを子ども達に考えていただきたいと思う。我々教育委員も教科書採択から様々なことを学んだ。我々はまだ教育の現場で語れるほどのものは持っていないかもしれないが、続けることによって我々自身の変化にもつながると信じている。

熊代教育長

今回は本当に多くの傍聴の方に来ていただいた。これからも是非、教育面に関心を持っていただき、いろいろな提言をしていただけるとありがたい。ありがとうございました。

2 議案第12号 鎌倉市立小学校平成24年度使用教科用図書の採択について

林委員長

日程の2 議案第12号「鎌倉市立小学校平成24年度使用教科用図書の採択について」を議題とする。議案の説明をお願いします。

教育指導課長

議案集は、3ページから4ページをご参照いただきたい。4月の教育委員会で「平成24年度使用教科用図書の採択方針」を議決いただいた。小学校教科用図書については、「平成22年度に採択した教科用図書と同一のものを採択する。」としているので、平成24年度に使用する小学校使用教科用図書として、議案集4ページに記載の、別紙「鎌倉市立小学校平成24年度使用教科用図書一覧（案）」9教科11種目の教科用図書を継続して採択するものとして提案するものである。

質問・意見

特になし

(採決の結果、議案第12号は、全会一致で原案どおり可決された)

3 議案第13号 鎌倉市立中学校平成24年度使用教科用図書の採択について

林委員長

日程の3 議案第13号「鎌倉市立中学校平成24年度使用教科用図書の採択について」を議題とする。議案の説明をお願いします。

教育指導課長

平成24年度使用中学校使用教科用図書を、先ほど種目ごとに選定していただいた。それを一覧表にまとめたお手元の「鎌倉市立中学校平成24年度使用教科用図書一覧表(案)」9教科15種目のとおり採択するものとして提案するものである。

質問・意見

特になし

(採決の結果、議案第13号は、全会一致で原案どおり可決された)

林委員長

本日の日程はすべて終了した。8月臨時会を閉会する。